

「なむ」の識別

① 未然形 + なむ ↓ 「なむ」一語で願望を表す
(他者への願望 || シテホシイ)。

・花咲か^{未然}
なむ (|| 花が咲いてほしい)

② 連用形 + なむ ↓ 「な」と「む」が切れる。

助動詞の組み合わせで、「な」は強意または完了。
「む」は推量・意志・勧誘 etc. (キツト ↓ ダロウ)
というのがパターン。

・花咲き^{連用強推}
なむ (|| きつと花が咲くだろう)

③ 体言・助詞・連体形・副詞 + なむ ↓ 係助詞
(係り結びで強調)

・花^{体言}
なむ咲きける (|| 花が咲いたよ！)

※ 係助詞「なむ」は形容詞の連用形「〜く・〜う(音便)」・
形容動詞の連用形「〜に」・打消の助動詞「ず」の連用形
にもつく。

要するに、「〜く(う)なむ」「〜になむ」「〜ずなむ」の
「なむ」は係助詞と覚えておこう

・やさしく^{なむ} (下に「ある」の省略)

・かなしう^{なむ} (下に「ある」の省略)

・何ともおぼゆまじく **なむ** (下に「ある」または「あらむ」の省略)

・あはれに **なむ** ↓形容動詞の連用形「―に」の下についた「なむ」は係助詞

④ ナ変動詞+む ↓ 「死な**む**」「往な**む**」の場合。「死な」「往な」、一語でナ変動詞の未然形。

「む」は推量・意志 etc.